

事業名	農地集積・集約化推進事業				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業総務費
事業費	3,323 千円			予算書	172 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>担い手への農地集積や耕作放棄地の解消・発生防止による農業経営の効率化、農地の利用継続を図るため、「京都府農地中間管理機構」からの委託を受け、農地集積・集約化等に係る推進事業に取り組む。</p> <p>※ 京力農場プランの作成や機構への貸付面積割合・貸付期間等一定の条件を満たすと、農地の貸し手や集積に協力する集落は、集積協力金の交付を受けることができる。</p>			
	事業の内容	<p>○受託事業費 900千円 【内容】①農地コーディネーター配置経費 ②調整会議等関係経費</p> <p>○機構集積協力金 2,423千円 【内容】①地域集積協力金 ・地域内の一定割合以上の農地を機構に預けた場合に地域に交付 ②経営転換協力金 ・経営転換又はリタイヤ農業者が農地を機構に預けた場合に交付 ③耕作者集積協力金 ・機構の借受農地に隣接する農地を機構に預ける所有者等に交付</p> <p>※ 京力農場プランとは集落・地域で、地域の担い手や農地の集積等の話し合いを行い、人と農地の問題を解決するための未来の設計図となるもの。 【策定済地区数（平成28年度末）：19地区（22集落）】</p>		
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)
	国支出金	-		
	府支出金	2,423	農地集積協力金交付金(定額)	72
	地方債	-		
	その他	900	雑入(農地中間管理機構委託金)	96
一般財源	-			
担当課	農林課	課長名	桑垣 義亮	内線番号 1240

平成30年度 主な事務事業調

No. 69

事業名	加佐地区農業・農村活性化戦略事業				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業振興費
事業費	12,874 千円			予 算 書	172 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>度重なる台風被害や少子高齢化が進行する加佐地区において、主要産業である農業や豊かな自然環境を活かした“心豊かに住み続けられる加佐づくり”を目標とし、地域の農産物等の高付加価値化や農商工連携などによる農業の振興、空き家の活用・移住の促進を図るとともに、地域の魅力を高めていくための田舎体験・自然体験等の農村ビジネス、都市農村交流及び地域情報の発信等の事業に取り組み、加佐地区の農業・農村の活性化を推進する。</p>			
	事業の内容	<p>○「攻めの農業」のための農業振興支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手農家への農地集積、農地の貸し借りに関する相談 ・集落営農組織等の担い手農家と市内飲食店や加工業者との農商工連携による販売ルート等の確保・推進 <p>○「心豊かに住み続けられる加佐づくり」のための地域振興支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場の農産物を使った農家レストランや加工品づくり等の6次産業化支援 ・周辺の自然環境や農業等を活かした田舎体験モデル事業の実施 ・田舎ぐらし等に関連したイベント開催や展示の実施 ・空き家の活用の働きかけ、移住・定住の相談・サポート ・加佐地域のさまざまな情報発信 <p>(「あいあい加佐」：http://www.uenoke.com/)</p> <p>◆加佐地域農業農村活性化センター（水曜日休館） ※農業経営等の相談は、農林課で直接対応</p>		
財源内訳		区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	660	雑入(電力料等実費徴収金ほか)	96
	一般財源	12,214		
担当課	農 林 課	課長名	桑垣 義亮	内線番号 1240

平成30年度 主な事務事業調

No. 70

事業名	農村移住・交流促進事業				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業振興費
事業費	12,962 千円			予 算 書	172 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	農村地域では高齢化・人口減少によって自治会活動等の地域活動に支障が生じてきていることから、地域の担い手等の確保及び農村の活性化を図るため、空き家の提供の推進や地域での受け入れを支援するとともに、田舎暮らし希望者との交流や田舎の魅力を発信し、農村地域への移住・定住を推進する。				
	事業内容	1. 移住促進住宅(空き家提供住宅)改修等補助 10,580千円 【補助対象】移住促進特別区域(府指定)内の空き家であること ○移住者等への助成(住宅改修費) ・新規登録で入居された空き家1戸当たり @1,800千円(上限) ○空き家提供者への助成(空き家を提供するための準備経費) ・新規登録で入居された空き家1戸当たり @100千円 ○地域受入団体への助成(空き家提供者への働きかけや移住者が地域に溶け込むための支援経費) ・空き家への入居受け入れ毎に @10千円 ○空き家購入・改修資金の金利軽減助成 ・移住先の空き家の購入・改修資金の金利負担軽減(補助率1/2・5年間)			
内容		2. 田舎の魅力体感推進事業 300千円 ○体験事業や農家民宿等の農村ビジネスの創出に向けての意識啓発・実践のためのセミナー等の開催 ○田舎体験ツアーの開催			
	3. 滞在型農林業体験実習施設(トレーラーハウス)の運営 82千円 ○農林業の体験実習や農村生活を通じた住民との交流等のための施設運営				
内容	4. 移住・定住・交流推進事業補助金 2,000千円 ○田舎暮らし希望者を対象にした廃材や自然素材を活用した建物の建築技術を学ぶワークショップの開催を支援 実施主体 雲の上ゲストハウス運営委員会 補助率(定額)				
	財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	-			
	府支出金	4,760	京都移住促進事業費補助金(1/2)	72	
	地方債	-			
	その他	2,000	雑入(地域活性化センター助成金)	96	
	一般財源	6,202			
担当課	農 林 課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240

平成30年度 主な事務事業調

No. 71

事業名	6次産業化推進事業				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業振興費
事業費	2,800 千円			予算書	174 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>地場産の農作物の新たな需要への対応や高付加価値化・市場の拡大を図るため、新たな加工品づくりに取り組む農家や連携する加工業者等を支援し、6次産業化の推進を図る。</p>
事業の内容	<p>○6次産業化の推進 2,300千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーによる個別指導 1次産業の高付加価値化やブランド化の推進、農水商工連携や舞鶴の地産地消の推進などの取り組みに関するアドバイス等による支援 ※実践経験や指導経験豊富なアドバイザー（1名）及び支援パートナーによる支援体制 ・6次産業化に取り組むためのセミナー等の開催 高付加価値の付け方・思いの伝わる販売方法等の勉強会 <p>○ふるさと舞鶴直送便の実施 500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴のこだわり産品と生産者紹介等、「ふるさと舞鶴」を届ける宅配便事業の構築・支援

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,400	地方創生推進交付金(1/2)	60
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		1,400		

担当課	農林課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240
-----	-----	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 72

事業名	万願寺甘とう振興事業					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費	16,505 千円			予 算 書	174 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的

万願寺甘とうは、昨年6月に京都府内では初めてとなる地理的表示(GI)制度に登録されるなど、国内外に向けた需要拡大を目指した取り組みが行われており、平成29年の出荷量は590トンと過去最高を記録した。

今後も農業経営の中心となる万願寺甘とうの消費拡大と農業所得向上のためのPR活動を実施し、生産者の大規模化や若手農業者などの後継者育成に重点を置き、生産と消費の両面から支援を行い、万願寺甘とう発祥の地として万願寺甘とう栽培による農業経営の基盤づくりを図る。

事業の内容

- 「万願寺甘とう」の生産拡大を図るための施設等の整備
 - パイプハウス整備支援 15,000千円
 - ・ 予定施設：12棟、受益面積31.5a
 - ・ 補助率：5/10
 - 生産性の向上支援 1,000千円
 - ・ 予定施設：露地栽培用支柱等の購入、受益面積40a
 - ・ 補助率：4.5/10
- 首都圏へのプロモーション活動
 - 販売促進活動 505千円
 - JA、京のふるさと産品協会等と連携した「万願寺甘とう」のPRイベント、広報メディアの活用

財源	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
内訳	国支出金	-		
	府支出金	16,000	京野菜等生産加速化事業費補助金(4.5/10・5/10)	72
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	505		

担当課	農 林 課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240
-----	-------	-----	-------	------	------

事業名	佐波賀だいこん等伝統野菜ブランド化推進事業				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業振興費
事業費	344 千円			予 算 書	174 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的

京の伝統野菜「佐波賀だいこん」の更なる認知度、ブランド力を高め、京都府と連携し健康機能性の調査研究内容をPRの素材として活用するとともに、「京の伝統野菜佐波賀だいこん食文化振興研究会」の関係者らとともに一層の連携を図り生産、流通、販路の拡大を図る。
 また、京の伝統野菜「舞鶴かぶ」についても生産者・生産面積の拡大を図るとともに、市内での認知度を広めるため、調査・広報活動等を行なう。

事業の内容

■佐波賀だいこん等伝統野菜ブランド化推進事業
 ○プロモーション活動
 ・ふるさと産品協会、JAと連携した京都市内向けのPR活動
 ・京都市内大型スーパーでのPR販売
 ・舞鶴かぶの継続栽培
 ※「京の伝統野菜 佐波賀だいこん食文化振興研究会」
 設立:H24.12.19
 構成組織:生産者、イオンリテール(株)、JA京都にのくに、京都府、舞鶴市

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	344		

担当課	農 林 課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240
-----	-------	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 74

事業名	茶業振興対策事業				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業振興費
事業費	3,747 千円			予 算 書	174 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>舞鶴茶は、平成24年度～28年度まで全国茶品評会「かぶせ茶の部」において、産地賞第一位を5年連続受賞しており、良質なお茶の産地としての生産振興と普及促進を図るため、あらゆる機会にPRを行うとともに、全国茶品評会への出品奨励を行い、さらなる産地評価を得ることによる品質の向上など、生産意欲の向上を図る。</p> <p>また、茶業栽培の省力化・効率化を図るための機械導入の支援を行う。</p>
	<p>舞鶴産のお茶振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○共同製茶等省力化推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 乗用茶刈機導入補助 2,740千円 (補助率 1/2) ○全国茶品評会への出品奨励金 450千円 <ul style="list-style-type: none"> ・出品茶1点につき30千円 ※出品実績 28年:度15点 29年度:10点 ○舞鶴産のお茶の啓発活動 557千円 <ul style="list-style-type: none"> ・市広報板PR、イベントPR出展 ・PRに必要な啓発用ノベルティーの作製(お茶ティーバッグ)

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	2,192	茶業振興対策事業費補助金(4/10)	72
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,555		

担当課	農 林 課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240
-----	-------	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 75

事業名	全国水源の里シンポジウム開催事業				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業振興費
事業費	6,320 千円			予算書	174 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>第12回全国水源の里シンポジウムを本市で開催し、本市の農山村部振興や移住定住の取り組みを全国へ発信する。</p> <p>※第11回は滋賀県米原市で開催 ※全国水源の里連絡協議会 ○「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」を基本理念とし 平成19年に146市町村が参加し設立された組織 要望活動、シンポジウム、フォトコンテスト、情報誌発行等</p>
	<p>第12回全国水源の里シンポジウム開催 ○開催日 11月1日～2日 ○会場 総合文化会館及び赤れんがパーク ○内容 ・シンポジウム 基調講演、パネルディスカッション等 ・交流会 ・現地視察研修会</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	3,260	雑入(コミュニティ助成、全国水源の里連絡協議会補助金、参加者負担金)	96
	一般財源	3,060		

担当課	農林課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240
-----	-----	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 76

事業名	園芸施設栽培振興事業費補助					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費	8,100 千円			予 算 書	174 頁	
				事業区分	新規・拡大 継続	

事業の目的	<p>将来を担う新規に就農する若者に対して、中丹地域の推奨作物であるイチゴ等の生産拡大を進めるため、施設整備を支援し、農業経営の強化を図る。</p>
事業の内容	<p>■園芸施設栽培振興事業費補助金 ○支援内容 8,100千円 イチゴなど園芸作物栽培用ハウスや付帯設備 4棟 ○補助率 4.5/10 ○補助対象 新規就農者、45歳未満の農業者</p>

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	8,100	京野菜生産加速化事業費補助金 (4.5/10)	72
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	農 林 課	課長名	桑垣 義亮	内線 番号	1240
-----	-------	-----	-------	----------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 77

事業名	水田農業の生産基盤強化に対する支援（全体）				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業振興費
事業費	12,660 千円			予算書	174 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的
 集落や地域を単位とした営農組織や農業生産法人の経営基盤の強化や実需者からの具体的なニーズに対応した生産品目の拡大・低コスト化を図るための生産機械設備の整備への支援を行い、中核的な担い手の育成、農地集積の推進及び農業所得の向上を図る。

事業内容	■京の水田農業総合対策事業費補助 7,300千円 ・「京の米」生産イノベーション事業費補助 （中間管理機構を利用した農地集積者は補助率府1/2、その他は府4/10）			
	事業主体	事業内容(導入設備)	事業費(千円)	補助金(千円)
	(株)棕本営農	田植機、温湯処理機、乗用溝切機、粗選機	2,600	1,300
	西方寺酒造好適米生産組合	コンバイン	13,000	5,200
	・京の地域特産物応援事業費補助（補助率 府:1/2）			
	事業主体	事業内容(導入設備)	事業費(千円)	補助金(千円)
	(株)下東農産	全自動播種機(じゃがいも用)	1,600	800
	■集落営農発展型農場づくり事業費補助 4,160千円（補助率 府:1/2）			
	事業主体	事業内容(導入設備)	事業費(千円)	補助金(千円)
	(株)下東農産	トラクター用草刈り機	1,866	933
(仮称)朝来中営農組合	田植え機、コンバイン、畔塗り機、散水キット等	6,454	3,227	
■経営体育成支援事業費補助 1,200千円（補助率 府:3/10）				
事業主体	事業内容(導入設備)	事業費(千円)	補助金(千円)	
岡田中作業受託組合	コンバイン	4,000	1,200	

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	12,660	「京の米」生産イノベーション事業費補助金 (4/10・1/2) 京の地域特産物応援事業費補助金 (1/2) 集落営農発展型農場づくり事業費補助金 (1/2) 経営体育成支援事業費補助金 (3/10)	72
	地方債	-		
	その他 一般財源	-		

担当課	農林課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240
-----	-----	-----	-------	------	------

事業名	農業次世代人材投資事業費給付金				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業振興費
事業費	18,750 千円			予 算 書	174 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修期間（2年以内）及び経営が不安定な就農直後（5年以内）の所得安定を目的として給付金を交付する。			
	事業の内容	■農業次世代人材投資事業 ○概要 「人・農地プラン」に位置づけられた45歳未満の独立・自営就農者に対し、就農後5年間、150万円/年を給付する。 【農業次世代人材投資事業費給付金】 ・準備型(就農前研修期間2年以内) … 京都府から交付 ・経営開始型(就農後5年以内) … 舞鶴市から交付 ○対象者 ・平成26年度～ 5名 ・平成27年度～ 4名 ・平成28年度～ 1組(夫婦) ・平成29年度～ 1名 ・平成30年度～ 2名(予定) ○給付額 150万円/年、225万円/年(夫婦共同経営の場合)		
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)
	国支出金	-		
	府支出金	18,750	農業次世代人材投資事業費補助金(定額)	72
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		
担当課	農 林 課	課長名	桑垣 義亮	内線番号 1240

平成30年度 主な事務事業調

No. 79

事業名	農村地域防災減災事業				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農地費
事業費	12,800 千円			予 算 書	176 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	農業用ため池については、高齢化や受益地の減少による農家の減少で、除草や維持管理に支障をきたしている現状である。 ついては、農業用ため池の豪雨や地震時における下流域への影響を考慮し、危険度判定の調査の実施やハザードマップを作成することで地域住民への危険回避や防災意識を高める。			
	事業の内容	(補助) 地区名 登尾池(登尾)、田中池(田中)、赤迫池(行永) 奥の池(倉谷)、吉田池(吉田)、豊池(上福井、上東) 三日市池(三日市)、湯ノ口池(今田) 計8池 工 種 ハザードマップ作成 事業費 12,000千円 補助率 府10/10 (市単費) ため池調査 一式 事業費 800千円		

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予 算 書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	12,000	農村地域防災減災事業費補助金 (10/10)	72
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	800		

担当課	農 林 課	課長名	桑垣 義亮	内線 番号	1240
-----	-------	-----	-------	----------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 80

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農地費
事業費	264 千円			予算書	176 頁
				事業区分	新規・拡大 <u>継続</u>

事業の目的	農業用施設の維持管理と施設更新を図るため、地元と市が資金積立（5年間）を行い、市が事業主体となり、施設の整備補修等を実施する。				
事業の内容	地区名	西方寺地区			
	全体事業費	4,000千円			
事業の内容	事業内容	ファブリダム（ゴム堰） 機械設備整備 一式			
	資金積立期間	平成29年度～平成33年度			
	事業実施年度	平成32年度（予定）			
	負担割合	国	30%		
		府	30%		
市		20%			
地元		20%			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書	
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	144	土地改良施設維持管理適正化事業費分担金	46	
	一般財源	120			
担当課	農林課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240

平成30年度 主な事務事業調

No. 81

事業名	小規模基盤整備事業費補助				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農地費
事業費	3,000 千円			予 算 書	176 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	農村集落では高齢化・担い手不足によって農地の維持が困難になる中、国・府の補助対象にならない小規模な基盤整備を行うことで、世代交代のしやすい営農活動を支援するとともに、耕作放棄地の拡大を防止し農地保全を図る。	
	事業主体	自治会、農事組合、水利組合等
事業の内容	事業内容	50a未満、2工種以上（まち直し、客土工、暗渠排水工、湧水対策工、頭首工、用水路工、排水路工、揚水機、農道、橋梁工、ため池、鳥獣防護柵）の整備
	対象事業	100万円以上500万円以内の事業
	補助割合	2/3
	事業期間	H29～H32（4ヶ年）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	3,000		

担当課	農 林 課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240
-----	-------	-----	-------	------	------

事業名	有害鳥獣被害防止対策事業				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	49,561 千円			予 算 書	178 頁
				事業区分	新規・拡大 (継続)

事業の目的	捕獲に対する報償、担い手の育成、処理施設の円滑な運用等による捕獲の推進と追い払い用具の購入、侵入防止柵の設置に対する支援等によって防除を推進し被害の低減を図る。				
	事業の内容	1. 猟友会及び捕獲従事者育成支援事業 (2,398千円)			
<ul style="list-style-type: none"> ・猟友会の有害鳥獣捕獲活動に係るハンター保険・自動車保険の支援 ・狩猟者の担い手確保対策経費 (狩猟登録及び猟銃等購入経費の支援) 					
2. 捕獲事業・捕獲活動事業 (43,297千円)					
<ul style="list-style-type: none"> ・猟友会の有害鳥獣捕獲に対する出動・捕獲報償費 38,742千円 ・有害鳥獣駆除期間中の連絡調整や殺処分の立会等の従事者等経費 4,555千円 					
3. サル被害防止対策 (2,359千円)					
<ul style="list-style-type: none"> ・餌付けによる捕獲、追い払い用火火支給による地域支援経費 983千円 ・サル群れ捕獲の基礎となる頭数・行動域等の生息状況調査費 1,376千円 					
事業の内容	4. 有害鳥獣被害防止対策協議会負担金 (145千円)				
	舞鶴市有害鳥獣被害防止対策協議会 (関係機関や学識経験者で組織) の運営費負担金				
	5. 中丹地域有害鳥獣処理施設一時保管庫管理経費 (767千円)				
事業の内容	6. その他 (595千円)				
	鳥獣撃退用具購入に対する補助、防除施設 (金網柵、電気柵等) の設置補助				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称 (補助率等)	予算書	
	国支出金	-			
	府支出金	16,396	野生鳥獣被害総合対策事業費補助金 (1/2・10/10)	74	
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	33,165			
担当課	農 林 課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240

平成30年度 主な事務事業調

No. 83

事業名	森林整備地域活動支援交付事業				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	1,834 千円			予算書	178 頁
				事業区分	新規・拡大 (継続)

事業の目的	平成30年度末までに森林施業の集約化等に必要な森林所有者情報及び地図情報を管理するシステム（林地台帳）を市町村において整備することとした森林法の改正を踏まえ、施業集約化に向けた森林所有者及び境界の明確化を加速化させる取組みに対し支援するもの。			
	事業の内容	<p>■森林境界の確認・測量 (デジタルコンパスやGPSを活用した測量であることが要件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体 舞鶴市森林組合 ・実施面積 40ha (与保呂) ・交付単価 45,000円/ha ・補助率 国1/2 府1/4 市1/4 		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
		国支出金	-	
	府支出金	1,384	森林整備地域活動支援交付金(3/4・定額)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	450		

担当課	農 林 課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240
-----	-------	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 84

事業名	森林整備推進事業（全体）				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	19,071 千円			予 算 書	178・180 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>利用期を迎えた人工林について国府の補助制度を活用し、低コストで効率的な間伐施業を行うとともに、搬出間伐を推進するために必要な森林作業道の開設に取り組む林業事業体を支援し、本市における木材生産量の拡大につながる山づくりを目指す。</p>
事業の内容	<p>■緑の公共事業費補助金・・・7,051千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置竹林拡大防止事業 人工林に侵入拡大した竹林の整理伐後の刈払い（202千円） ・森林適正整備推進事業 高齢級の森林における緊急間伐・間伐材の搬出（6,849千円） <p>■豊かな森づくり推進事業費（間伐材利用促進事業費補助金） 市内で産出した間伐材を木材市場や木材加工事業所等に搬入した者に対する補助・・・7,800千円</p> <p>■流域森林総合整備事業費補助金 国の造林補助事業により実施する間伐等の森林施業と森林作業道作設にかかる費用の一部を補助する。・・・4,220千円</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	9,774	みらい戦略一括交付金（1/2） いのちと環境の森づくり事業費補助金（5/10）	72 74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	9,297		

担当課	農 林 課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240
-----	-------	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 85

事業名	安心・安全な里山環境改善事業					
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費	8,000 千円			予算書	178 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>里山の住環境に著しく悪影響を及ぼしている人家近くの里山林や、子どもの通学に支障をきたしている通学路沿いの荒廃林を伐採し、整備後の里山の保全活動を地域が主体的に行うことにより、安心・安全に暮らすことのできる里山の環境づくりを行う。</p>
事業の内容	<p>■事業対象地 住民生活に著しく悪影響を及ぼし、早急に整備すべき里山林</p> <p>■対象要件 ・伐採後、自治会などの地域団体等で管理が可能であること。 ・1箇所につき0.5ha以下（面積要件）</p> <p>■実施方法 市が伐採し、地域の団体で管理。</p> <p>■事業地の選定 公募の上、審査によって決定する。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	8,000	豊かな森を育てる府民税市町村交付金(定額)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	農林課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240
-----	-----	-----	-------	------	------

事業名	森林概要調査事業					
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費	2,030 千円			予算書	178 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>森林GIS（京都府森林情報システム）、航空写真およびこれまでの施業履歴を用いて本市森林に関する情報を図示化することによって、森林の現状をより正確に把握し、森林整備事業の計画的な実施及び作業の効率化を図るとともに、木材生産量の更なる拡大に向けた取組みを推進する。</p>
事業の内容	<p>■図示化する内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工林を中心とした森林の分布状況及び樹種・林齢等 ・既設林道及び森林作業道の開設状況 ・これまでの施業履歴（国庫補助事業等）の情報 <p>■調査エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材生産が可能なエリアをH28年度から順次調査を実施 ・調査面積 H28年度 4,549ha H29年度 4,881ha ・平成30年度は、西地区（中筋、余内、池内）・東地区・大浦地区の一部を調査予定（約6,000ha）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	2,030	豊かな森を育てる府民税市町村交付金(定額)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	農林課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240
-----	-----	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 87

事業名	林地残材利用促進事業				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	450 千円			予 算 書	178 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>森林整備や作業道作設する際に切り捨てていた林地残材（広葉樹）の搬出を推進するとともに、豪雨等による林地材の流出被害を未然に防ぐことを目的とする。</p>
事業の内容	<p>■林地残材（広葉樹）の搬出</p> <p>林地残材（広葉樹）の搬出見込 150トン/年</p> <p>3,000円/トン×150トン=450,000円</p>

財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	450	豊かな森を育てる府民税市町村交付金(定額)	74
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		-		

担当課	農 林 課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240
-----	-------	-----	-------	------	------

事業名	森林・山村多面的機能発揮対策事業費補助				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	993 千円			予算書	180 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	森林所有者や地域住民等が協力し、森林の有する多面的機能を発揮させるための保全活動及び山村地域の活性化に資する取り組み（里山保全、侵入竹除去・竹林整備、森林機能強化、教育・研修活動他）に対して支援する。
	制度改正に伴い国の交付金が減少する中、地域住民等による里山保全・森林整備等の地域活動を支援するもの。
事業の内容	【国の制度】 <ul style="list-style-type: none"> ・国の交付単価見直しによって、従来の単価が3/4に削減 <ul style="list-style-type: none"> 里山林保全 16万円/ha→12万円/ha 侵入竹除去 38万円/ha→28.5万円/ha ・府及び市の支援(国・地方の割合3:1)がある活動を優先採択
	【30年度の取り組み状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・実施団体 10団体 総事業費 7,940千円 ・国、府、市補助金合計 7,940千円 <ul style="list-style-type: none"> 国交付金 5,955千円(3/4) 地方公共団体補助金 1,985千円(1/4) <ul style="list-style-type: none"> <府992,500円(1/8)、市992,500円(1/8)>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		993		

担当課	農林課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240
-----	-----	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 89

事業名	林道改良事業				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林道開設費
事業費	23,000 千円			予算書	180 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的

林道上漆原線においては、路面が急勾配のため豪雨時のたびに洗掘が生じており、日常管理に多大な経費を要する状態となっている。
 利用者の安全確保と維持管理費を軽減するため、道路面の改良を行う。

事業の内容

路線名 林道上漆原線
 林道路面改良 L = 500m
 事業費 23,000千円

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	23,000	辺地債	98
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課 農 林 課 課長名 桑垣 義亮 内線番号 1240

平成30年度 主な事務事業調

No. 90

事業名	林道施設長寿命化事業					
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林道開設費
事業費	5,000 千円			予算書	180 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	社会インフラの適切な維持管理が求められる中、林道台帳上の林道橋について、点検・修繕・更新の計画を策定し、適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図るもの。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4m以上の林道橋点検及び長寿命化計画の策定 1式(16橋) ・ 事業費 5,000千円 		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	2,750	林道改良事業費補助金(5.5/10)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	2,250		

担当課	農林課	課長名	桑垣 義亮	内線番号	1240
-----	-----	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 91

事業名	漁業担い手育成支援事業					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費	3,365 千円			予算書	182 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	新たな漁業の担い手の確保や活力ある漁業や漁村を実現するため、若手・中堅漁業者の育成、新規漁業者の漁船等の取得、更には漁村における就業、定住を支援する。				
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○「海の民学舎」運営協議会負担金 400千円 ○漁船等リース事業費補助金 1,000千円 漁船1隻 補助率：1/3以内 ○漁村移住者受入促進事業費補助金 1,935千円 ・移住者等への助成（空家改修費） 1,800千円 （補助額の上限は1,800千円） ・空き家提供者への助成等 135千円 ○水産技術研修事業費補助金 30千円 京都府漁業士会の活動経費への助成 補助率：1/2以内 			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	962	京都移住促進事業費補助金(1/2)		74
	地方債	-			
	その他	-			
一般財源		2,403			
担当課	水産課	課長名	中西 滋	内線番号	1210

平成30年度 主な事務事業調

No. 92

事業名	まいづるのお魚普及事業					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費	2,526 千円			予算書	182 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>「まいづるの魚」のPRと消費拡大を推進するため、学校給食での地元産の魚の利用や（一社）舞鶴市水産協会の実施する「さかなの舞鶴」のPRと消費拡大の取り組みに対する補助、並びに京都府産なまこの加工品の販路の拡大に取り組む。</p>					
	事業の内容	<p>○「いただきます。まいづるのお魚」普及事業 1,390千円 ・市内小中学校25校の学校給食に使用する魚の食材費補助 70円/人×2回</p> <p>○なまこ6次産業化推進事業 593千円 ・なまこ加工品（酢なまこ等）の販売促進</p> <p>○まいづるのさかなPR事業 543千円 ・魚食普及の取組み ・舞鶴のさかな提供店のPR</p>				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
		国支出金	-			
	府支出金	500	みらい戦略一括交付金(1/2)		74	
	地方債	-				
	その他	-				
一般財源		2,026				
担当課	水産課	課長名	中西 滋	内線番号	1210	

平成30年度 主な事務事業調

No. 93

事業名	漁村再生交付金事業					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港管理費
事業費	2,000 千円			予算書	184 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>成生漁港の地先海面を埋立て、地区の基幹漁業である大型定置網漁業に不足している漁具の保管修理施設用地を整備し、網替えや網干し、修理作業の効率化と省力化を図る。</p>
事業の内容	<p>○公有水面埋立申請に係る図書作成 1式</p> <p>※事業概要</p> <p>○事業期間：平成29年度～平成32年度（4カ年）</p> <p>○整備内容：漁具保管修理施設用地の造成 A=950m² 岸壁 L=40m 護岸 L=34m</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	100	漁村再生交付金事業費分担金	46
	一般財源	1,900		

担当課	水産課	課長名	中西 滋	内線番号	1210
-----	-----	-----	------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 94

事業名	漁港海岸保全対策事業				
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目 漁港管理費
事業費	46,000 千円			予算書	184 頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続

事業の目的	<p>舞鶴市管理の海岸において、台風や冬季風浪による波浪から海岸を防護し、越波による砂浜の侵食や背後住家を保全する。 また、海岸や漁港に漂流・漂着するごみの回収・処分を行い、海洋環境や優れた景観を維持・保全することによって、観光や漁業など海岸・漁港の利用者に快適な環境を提供する。</p>
事業の内容	<p>○竜宮浜漁港海岸保全対策事業 39,700千円 ・三浜地区：離岸堤の嵩上げ 測量、実施設計 消波ブロック製作 ・小橋地区：かごマットの製作設置</p> <p>○海岸漂着物の回収・処分 6,300千円 ・漁港海岸(野原、竜宮浜、瀬崎)及び漁港の漂流・漂着ごみの回収・処分</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	17,500	農山漁村地域整備交付金(1/2)	60
	府支出金	9,333	海岸保全施設整備事業費補助金(1/6) 海岸漂着物等地域対策推進事業補助金(7/10)	74
	地方債	11,000	水産業債	98
	その他	1,162	海岸保全施設整備事業費分担金	46
	一般財源	7,005		

担当課	水産課	課長名	中西 滋	内線番号	1210
-----	-----	-----	------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 95

事業名	舞鶴漁港整備事業費負担金					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港管理費
事業費	14,000 千円			予算書	184 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的

京都府が事業主体として行う舞鶴漁港の整備事業について、舞鶴市が事業費の一部を負担し、京都府との連携のもと事業の促進を図る。

事業の内容

○舞鶴漁港整備事業費負担金 (負担率20%)
 ・水産供給基盤機能保全事業 70,000千円
 [漁港埠頭西岸壁 上部工工事 L=150m
 伊佐津川泊地 浚渫工事 V=4,000m³
 A=10,000m²]

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	12,600	水産業債	98
	その他	-		
	一般財源	1,400		

担当課	水産課	課長名	中西 滋	内線番号	1210
-----	-----	-----	------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 96

事業名	舞鶴観光ブランドプロモーション戦略事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	24,146 千円			予算書	186	頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	<p>旧海軍鎮守府設置からの日本近代化への躍動を体感する歴史が日本遺産に認定されたことを契機として、マーケティングマネジメントに基づき、赤れんがや自衛隊に代表される本市のイメージを踏まえ、「歴史」と「食」の連携による広域集客及び観光消費の拡大に努め、外国人観光客も含めた交流人口の増大、観光産業による地域経済の活性化を目指す。</p>						
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○戦略的誘客プロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の誘致 引揚の史実に基づく平和学習を中心とする誘致 ・パブリシティプロモーション メディア記事掲載を目的にシティセールスを実施 ○インバウンド(外国人観光客誘致)の推進 ○「歴史」と「食」の連携による全国唯一となる食文化の魅力発信 ○フィルムコミッション事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ロケ地を活用したツーリズムの推進による観光誘客事業 ○地域ブランドプロモーション事業 (舞鶴かに・かき・舞鶴かまぼこ他) ○日本海縦断観光ルートプロモーション(新規) <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市、敦賀市、豊岡市、WILLER(株)と連携した観光プロジェクト ○PRイベント出展(首都圏、京阪神圏ほか) 					
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)			予算書
	国支出金	1,000	地方創生推進交付金(1/2)			60	
	府支出金	7,800	みらい戦略一括交付金(1/2)			74	
	地方債	-					
	その他	-					
	一般財源	15,346					
担当課	観光商業課		課長名	櫻井晃人		内線番号	1260

事業名	着地型観光推進事業				
費目	款	商工費	項	商工費	目 観光振興費
事業費	23,429 千円			予算書	186 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的

赤れんがパークの観光戦略拠点化をより一層進め、海の京都DMOと連携した「着地型観光」への取り組み、おもてなし体制の充実を図る。
 他市にないオンリーワンの魅力づくりのため、赤れんが倉庫群をはじめ舞鶴固有の「海軍ゆかり」の資源を強く全国発信するとともに、引き揚げを体感する遊覧船の運航等により、ブランドの確立及び観光誘客・リピーターの増加を図る。

- 事業の内容
- 着地型観光の推進及び体制の充実
 - ・着地型観光商品の造成、情報発信(海の京都DMOと連携)
 - ・交流型ツーリズムの造成
 - 歴史遺産等をテーマとした地域間交流を促進するためのツーリズムを造成
 - ・観光案内所の運営(観光ステーション、東駅観光案内所)
 - 歴史資源を活かした観光まちづくり事業【拡大】
 - ・城下町、吉原地区等新たな魅力の創出
 - ・宿泊機能やまち歩きスポットの充実
 - 新たなツーリズムの創造【新規】
 - (文化芸術、音楽、スポーツ、アミューズメントなど)
 - 海を活かした遊覧船事業
 - ・海軍ゆかりの港めぐり遊覧船の運航
 - ・引き揚げを体感する遊覧船の運航
 - 自衛隊と連携した地域資源の活用(自衛隊施設の一般公開等)
 - まいづる観光講座の開催 ほか

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	600	地方創生推進交付金(1/2)	60
	府支出金	4,500	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	18,329		

担当課	観光商業 課	課長名	櫻井晃人	内線番号	1260
-----	--------	-----	------	------	------

事業名	京都舞鶴港クルーズ推進事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	15,130 千円			予算書	186 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的

2018年の京都舞鶴港へのクルーズ客船の寄港は、初寄港の3隻を含む7隻を予定しており、京都舞鶴港から乗下船できる「日本海周遊クルーズ」も3年目を迎える。

今後も、船社からも乗客からも“選ばれる港”となるためには、更なる「積極的なクルーズ船誘致」と「乗客の誘客」活動が不可欠であり、戦略的なプロモーション活動を展開する。

併せて、京都舞鶴港を訪れる乗客に対し、まち全体での歓迎体制によるおもてなしを展開することで、舞鶴の良さや満足度を高め、リピーター及び新規乗客の獲得を目指す。

- 事業の内容
- (1) クルーズ客船誘致活動
 - ・船社・代理店への訪問、他港との連携
 - ・クルーズ協議会、セミナー等参加
 - (2) 乗客の誘客活動
 - ・「舞鶴ドライブ&クルーズ」のPR
 - ・乗船前・下船後観光のPR 等
 - (3) クルーズ船寄港に伴うおもてなし事業
 - ・観光案内の実施（まち歩きマップ等の作成）
 - ・おもてなしイベントの実施
 - 入・出港パフォーマンス、日本文化の体験、
 - まち歩きツアーの実施等
 - ・シャトルバスの運行

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	5,500	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	9,630		

担当課	観光商業課 みなと振興・国際交流課	課長名	櫻井晃人 小森 実	内線 番号	1260 1250
-----	----------------------	-----	--------------	----------	--------------

事業名	海の京都観光推進事業・海の京都DMO負担金					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	26,873 千円			予算書	186	頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>府北部5市2町をエリアとする「海の京都観光圏」において、海の京都DMOとともにブランド観光地域を目指す。 海の京都DMOにおいては、マーケティング調査、広域プロモーション、着地型旅行商品の造成販売、人材育成、特産品開発等の取組みを進める。 本市においてはマーケティング調査を踏まえ、「歴史」と「食」が連携する市内周遊型イベント等を実施することにより積極的な誘客事業を展開する。</p>
事業の内容	<p>○海の京都DMO負担金 ・海の京都DMOの取組み事業 マーケティング調査 プロモーション・インバウンド事業 着地型旅行商品の造成販売、ガイド育成 特産品開発・ブランド化事業 ほか</p> <p>○海の京都DMOと連携したツーリズム及びイベントの開催 ・「歴史」と「食」を連動させたツーリズムの実施 「歴史・食文化」を体感するメニューの提供やまち歩きの実施</p> <p>○スポーツトレイル事業推進協議会負担金 ・「由良川大江山 SEA TO SUMMIT」の開催</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	6,388	地方創生推進交付金(1/2)	60
	府支出金	600	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		19,885		

担当課	観光商業	課	課長名	櫻井晃人	内線番号	1260
-----	------	---	-----	------	------	------

事業名	企業誘致実現プロジェクト事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	342,219千円			予算書	188頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>本市の地域経済の活性化と雇用の拡大を図るため、新規誘致とともに、既存の市内立地企業や中小企業の新増設など発展的な事業を積極的に支援する。</p> <p>また、市内の企業誘致用地や閉校用地を視察する見学会の実施により、地域経済の安定的な成長につながる働く場を創出する。</p>
事業の内容	<p>①働く場の創出企業立地促進補助（323,100千円） 企業立地補助金・・・3件（318,300千円） 働く場の創出補助金・・・継続企業分4件（4,800千円）</p> <p>②企業立地経営円滑化補助（14,900千円） 大口水道使用企業に対する水道料金の一部補助</p> <p>③舞鶴産業用地等見学会実施事業（609千円） 関西圏の金融機関やゼネコン等を対象に、新規立地を検討している企業に対して、市内の産業用地や閉校用地を紹介する現地見学会の実施</p> <p>④企業誘致推進対策事業（3,610千円） 新たな立地企業誘致のための情報収集、個別企業訪問の推進 等</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	6,700	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	318,300	商工債	98
	その他	-		
	一般財源	17,219		

担当課	企業立地・雇用促進課	課長名	岡野 昌和	内線番号	1211
-----	------------	-----	-------	------	------

事業名	新たな地域消費創造事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	9,400 千円			予算書	188 頁	
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続	

事業の目的
舞鶴商工会議所や金融機関等と連携し、新規創業の促進、活力ある事業者の育成や個店の魅力創出に積極的に支援を行うことで、新たな地域消費を生み出し、商業によるまちなかの賑わい創出、まちの安定的経済成長を図る。

- 事業の内容
- ①まいづる「逸品」創造促進事業
売れるものづくり等を通じた、アドバイザーの指導助言や事業者連携による支援。個店や商品のPR、地域の魅力発信の実施。
 - ②創業おうえん奨励金
日本政策公庫、北都信金の開業資金融資を受け創業する者に対し、奨励金を交付（補助率 開業借入資金 1.2%、3.0%）
 - ③がんばる事業者応援事業
事業者グループ等の取組・活動に対する専門家派遣等
 - ④中小企業の「稼ぐ力」向上支援事業【新規】
中小企業に対して、産官金が連携し一体的な伴走型支援体制を構築することにより、中小企業の「稼ぐ力」を向上させる取り組みを促進。
 - ⑤商店街出店事業費補助金
商店街で新規出店の場合、店舗改修費用、設備・備品購入、広告宣伝費等の出店に係る費用を補助（補助率：1/2 600千円限度）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	4,400	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	5,000		

担当課	観光商業 企業立地・雇用促進 課	課長名	櫻井 晃人 岡野 昌和	内線 番号	1260 1211
-----	---------------------	-----	----------------	----------	--------------

事業名	中小企業融資制度保証料補給金 中小企業融資制度貸付金					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	646,000 千円			予 算 書	188	頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的
市内中小企業の資金繰りの円滑化を図り、経営の安定化、事業展開等を促進するため、市独自の中小企業融資事業を実施する。
また、依然として厳しい経営環境にある市内中小企業の資金繰り負担を軽減し、経営改善等を図るため、融資期間を最長10年とする「中小企業経営改善特別融資（舞十年）」を継続するとともに、環境対策設備資金である「中小企業地球環境対策特別融資（舞グリーン）」を継続実施し、市内中小企業の省エネ対策、環境経営の取り組みを促進する。

事業の内容
 <主な実施制度概要>
 (1) 中小企業経営改善特別融資（舞十年）
 融資期間：10年以内（基本制度：8年以内）
 融資利率：年1.7%、融資限度額：1,500万円
 資金使途：運転資金、保証料補給：2分の1
 制度実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日
 (2) 中小企業地球環境対策特別融資（舞グリーン）
 融資期間：10年以内
 融資利率：年1.6%、融資限度額：2,000万円
 資金使途：環境への負荷低減を図るための設備導入資金
 保証料補給：2分の1
 <事業費内訳>
 (1) 中小企業融資制度貸付金 628,000千円
 (2) 中小企業融資制度保証料補給金 18,000千円

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	-		
	そ の 他	628,000	中小企業融資制度貸付金収入	94
	一 般 財 源	18,000		

担当課	観光商業 課	課長名	櫻井 晃人	内線 番号	1260
-----	--------	-----	-------	----------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 103

事業名	国際交流活動推進事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	16,895 千円			予算書	188 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的
 姉妹都市や友好都市等とのネットワークのさらなる充実に努めるとともに、市民が主体となる国際交流事業の推進に取り組む。

- 事業の内容
1. 国際交流員の配置
 2. 各種代表団の派遣・受入
 3. 舞鶴市・ポーツマス市姉妹都市提携20周年記念事業【新規】
 4. ポーツマス市訪問青少年英語研修等
 5. 大連市との青少年交流
 6. 多文化共生社会の推進
 7. 国際交流活動年次報告書の発行

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	7,500	電源立地地域対策補助金(定額)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	9,395		

担当課	みなと振興・国際交流課	課長名	小森 実	内線番号	1250
-----	-------------	-----	------	------	------

事業名	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業				
費目	款	商工費	項	商工費	目 貿易振興費
事業費	35,050 千円			予算書	188 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	<p>日本海側拠点港の選定を受けたそれぞれの機能（国際フェリー・国際RORO船、国際海上コンテナ、外航クルーズ）について、目標の早期実現に向け、国・府・近隣市や関係団体等と連携し、名実ともに京都舞鶴港が日本海側の拠点港として確立されるよう、利用促進に取り組む。（京都舞鶴港振興会への補助）</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 国際フェリー航路の開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・ 航路開設に係る荷主開拓のための日韓共同プロモーション ◆ 国際クルーズの誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小樽港、伏木富山港、境港、秋田港との連携による「環日本海クルーズ推進協議会」への参画 ・ 「京都舞鶴港クルーズ誘致協議会」によるクルーズ船の誘致 ・ 旅行社等と連携した寄港地観光ルートの開発

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	35,050		

担当課	みなと振興・国際交流課	課長名	小森 実	内線番号	1250
-----	-------------	-----	------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 105

事業名	京都舞鶴港振興会等補助				
費目	款	商工費	項	商工費	目 貿易振興費
事業費	82,948 千円			予 算 書	188 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	<p>日本海側拠点港の選定を受けた京都舞鶴港を関西経済圏における日本海側の物流拠点とするため、総合的な貿易振興策を講じる。</p>
事業の内容	<p>京都舞鶴港の一層の貿易振興を図るため、既存航路の活性化、新規航路の開設、集荷対策等を積極的に推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集荷要請等のポートセールス ・セミナー開催等のPR活動 ・貿易情報の収集及び調査 ・東アジア諸国等との友好・経済交流の促進 ・航路の拡充およびトライアル利用の促進 ・コンテナ貨物等に対するインセンティブ補助

財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	39,000	電源立地地域対策補助金(定額)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	43,948		

担当課	みなと振興・国際交流課	課長名	小森 実	内線番号	1250
-----	-------------	-----	------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 106

事業名	道路舗装修繕事業・道路施設修繕事業				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 道路維持費
事業費	166,650 千円			予算書	194 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>生活基盤となる道路施設の維持管理に努め、車両や歩行者等の安全な通行を確保し、安心して暮らせるまちづくりを推進する。</p>
事業の内容	<p>【社会資本整備総合交付金事業】 ○トンネル長寿命化修繕計画による点検及び修繕 H30実施予定：点検5箇所 修繕（大丹生トンネル照明設備）</p> <p>【単独事業】 ○側溝など劣化した道路施設の修繕・・・市内全域 ○劣化した舗装の修繕・・・市内全域</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
		国支出金	23,100	社会資本整備総合交付金(5.5/10)
	府支出金	-		
	地方債	18,200	道路橋りょう債	98
	その他	125,000	都市開発推進基金繰入金	86
	一般財源	350		

担当課	土木課	課長名	大岡 正之	内線番号	2350
-----	-----	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 107

事業名	道路除雪対策事業				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 道路維持費
事業費	48,280 千円			予算書	194 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的
 「舞鶴市道路除雪計画」に基づき、バス路線や幹線道路等の除雪及び凍結防止剤の散布を実施し、冬期における安全で円滑な交通の確保を図る。

事業の内容
 [対象地域]
 市内全域
 ○ 除雪作業
 ・大型除雪機によるバス路線を中心とした幹線市道等の除雪業務委託
 ・小型除雪機の配備による周辺部の生活道路の除雪作業支援
 ○ 凍結防止剤散布
 ・凍結防止剤散布機による凍結防止業務委託
 ○ 除雪機の更新
 ・小型除雪機 2台 (ロータリー式、トラクター式 各1台)

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	162	除雪作業事務委託金	64
	府支出金	-		
	地方債	2,800	道路橋りょう債	98
	その他	468	雑入(除雪機賃料)	96
	一般財源	44,850		

担当課	土木課	課長名	大岡 正之	内線番号	2350
-----	-----	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 108

事業名	交通安全推進事業					
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
事業費	32,950 千円			予 算 書	196	頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	子供、高齢者などの交通弱者や自転車が、安全で安心して通行できる道路整備を進め、快適で安心・安全なまちづくりを推進する。				
	事業の内容 ○歩道の整備や交差点改良等を推進 [対象路線] ・丸山通線(森本町) 歩道拡幅 ・本町通線(南田辺) 歩道設置 ○ガードレール、区画線、道路照明や交通安全灯など道路安全施設を設置(市内全域)				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	5,500	社会資本整備総合交付金(5.5/10)	60	
	府支出金	-			
	地方債	4,400	道路橋りょう債	98	
	その他	-			
一般財源		23,050			
担当課	土木課	課長名	大岡 正之	内線番号	2350

平成30年度 主な事務事業調

No. 109

事業名	幹線道路整備事業				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 道路新設改良費
事業費	283,800 千円			予算書	196 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的
 国道や府道を補完する幹線市道の整備を進め、本市の地域経済の活性化及び交通の円滑化と安全性の向上を図る。

事業の内容
 [対象路線]
 ・引土境谷線（伊佐津、境谷） 拡幅改良
 ・和泉通線（森本町） 街路新設

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	143,550	社会資本整備総合交付金(5.5/10)	60
	府支出金	-		
	地方債	129,500	道路橋りょう債	98
	その他	10,000	都市開発推進基金繰入金	86
	一般財源	750		

担当課	土木課	課長名	大岡 正之	内線番号	2350
-----	-----	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 110

事業名	地域間連絡道路整備事業				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 道路新設改良費
事業費	86,000 千円			予算書	196 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	周辺地域と市街地等を結ぶ幹線道路の整備を推進し、地域の振興や、定住環境の向上を図る。			
	[対象路線] ・松尾杉山登尾線(杉山) 部分改良 【PAZ原発避難路整備】 ・別所岸谷線(上根) 法面对策 ・白滝線(白滝) 部分改良 ・長之室線(上漆原) 部分改良 他			
事業の内容	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	86,000	辺地債	98
	その他	-		
	一般財源	-		
担当課	土木課	課長名	大岡 正之	内線番号 2350

平成30年度 主な事務事業調

No. 111

事業名	防衛施設周辺整備事業				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 道路新設改良費
事業費	28,200 千円			予 算 書	196 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	防衛省の交付金を活用して、狭隘道路の改良や歩道の新設などを行い、安全、安心に暮らせるまちづくりを推進する。			
	[対象路線] ・男子校下通線（余部上） 拡幅改良			
事業の内容				

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国支出金	20,000	特定防衛施設周辺整備調整交付金(定額)	60
	府支出金	-		
	地方債	3,900	道路橋りょう債	98
	その他	4,000	都市開発推進基金繰入金	86
	一般財源	300		

担当課	土木 課	課長名	大岡 正之	内線 番号	2350
-----	------	-----	-------	----------	------

事業名	橋りょう長寿命化事業				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 橋りょう費
事業費	58,200 千円			予 算 書	196 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく点検や修繕工事を実施し、将来にわたるトータルコストの縮減や平準化を図る。			
	<p>【社会資本整備交付金事業】</p> <p>○橋りょう長寿命化修繕計画に基づく点検及び修繕 H30実施予定：点検 135橋 修繕 宮の上橋、新川橋 他</p> <p>【単独事業】</p> <p>○舞鶴高専と共同研究等</p>			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	27,500	社会資本整備総合交付金(5.5/10)	60
	府支出金	-		
	地方債	8,700	道路橋りょう債	98
	その他	19,000	都市開発推進基金繰入金	86
	一般財源	3,000		
担当課	土木	課	課長名 大岡 正之	内線番号 2350

平成30年度 主な事務事業調

No. 113

事業名	浸水対策事業					
費目	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費
事業費	16,400 千円			予算書	200 頁	
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続	

事業の目的	<p>本事業は西地区市街地の浸水対策事業として、浸水被害の軽減を図るため取り組んできたが、平成29年10月の台風21号で東地区市街地も広範にわたり浸水被害を受けたことから、平成30年度から東地区にもエリアを拡大し、市街地における総合的な治水対策として安心・安全なまちづくりを推進する。</p>					
	事業内容	◆東地区浸水調査業務【新規】			3,850千円	
○東市街地内で発生する浸水メカニズムや浸水区域等の調査を実施する。						
◆宅地嵩上げ助成制度【拡充】			2,250千円			
○東、西市街地（浸水エリア）において、住宅等の地盤の嵩上げを行う者に対して、その費用の一部を助成することにより、浸水被害の軽減を図り、安心・安全で災害に強いまちづくりを推進する。						
財源内訳	◆雨水貯留施設（マイクロ呑龍）補助制度【拡充】			300千円		
	○東、西浸水対策事業区域において、個人で設置する雨水貯留施設費用の一部を補助することにより、雨水流出抑制と良好な水環境の再生を図る。					
	◆逆流防止施設設置工事			10,000千円		
	○市街地内への外水の浸入を防ぐため、河川・水路等にある排水口に逆流防止弁を設置する。					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	100	社会資本整備総合交付金(1/3)			60
	府支出金	2,600	みらい戦略一括交付金(1/2) 雨水貯留施設設置事業費補助金(1/3)			74
	地方債	10,000	河川債			98
	その他	-				
	一般財源	3,700				
担当課	下水道整備 お客様サービス 課		課長名	大草 修 馬場 昭	内線 番号	2220 2210

平成30年度 主な事務事業調

No. 114

事業名	河川整備事業				
費目	款	土木費	項	河川費	目 河川総務費
事業費	117,300 千円			予算書	200 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	浸水被害を引き起こしている箇所での河川整備を行い、安全で災害に強いまちづくりを推進する。			
	[対象地域]			
事業の内容	【特定防衛施設周辺整備調整交付金事業】 安岡地区水路（安岡） 水路整備 H30完了予定			
	【単独事業】 静溪川（七日市他） 河川改修 柿安川（赤野） 河川改修 京田川（京田） 河川整備 他			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
		国支出金	31,000	特定防衛施設周辺整備調整交付金(定額)
	府支出金	-		
	地方債	49,900	河川債	98
	その他	14,000	都市開発推進基金繰入金	86
	一般財源	22,400		

担当課	土木課	課長名	大岡 正之	内線番号	2350
-----	-----	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 115

事業名	由良川水防災対策促進事業				
費目	款	土木費	項	河川費	目 河川総務費
事業費	15,910 千円			予算書	200 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>由良川水防災事業の効果を発揮させるため、国道・府道の嵩上げと連携した市道の冠水対策や、水害時の内水をスムーズに排出させるための水路整備と、内水等に対する調査を実施し、安全・安心な生活環境づくりを推進する。</p>
事業の内容	<p>(1) 志高大排水路の整備 地域内に発生した雨水等をスムーズに排出させるための水路整備を行う。</p> <p>(2) 緊急水防災対策事業関連調査 緊急水防災対策で発生した地域課題（内水対策等）の解決策検討などを行う。</p>

区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
国支出金	1,416	由良川下流部緊急治水対策事業事務費交付金(定額)	60
府支出金	-		
地方債	9,000	河川債	98
その他	-		
一般財源	5,494		

担当課	国・府事業推進課	課長名	岸本 浩	内線番号	3441
-----	----------	-----	------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 116

事業名	急傾斜対策等促進事業費負担金					
費目	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費
事業費	30,560 千円			予算書	200 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	市民の生命と財産を守るため、京都府が行う急傾斜地崩壊対策事業について、舞鶴市が事業費の一部を負担し、京都府との連携のもと、着実な事業の整備促進を図る。					
	事業の内容	○急傾斜対策等事業費負担金 [負担額] 22,500千円 (負担率5%) [実施地区] 志高、大丹生、大波下				
事業の内容		○急傾斜対策関連工事委託料 [委託料] 8,060千円 [実施地区] 大波下				
	財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
国支出金		-				
府支出金		-				
地方債		29,000	河川債		98	
その他		-				
一般財源		1,560				
担当課		国・府事業推進課	課長名	岸本 浩	内線番号	3441

平成30年度 主な事務事業調

No. 117

事業名	京都舞鶴港整備事業費負担金				
費目	款	土木費	項	港湾費	目 港湾対策費
事業費	57,200 千円			予 算 書	202 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>京都舞鶴港の物流機能向上のため、多目的国際ターミナルとなる舞鶴国際ふ頭、臨港道路等の早期整備を国及び京都府と緊密に連携しながら促進する。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・臨港道路和田下福井線の整備促進

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予 算 書
		国 支 出 金	-	
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	57,200	港湾債	98
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	-		

担当課	みなと振興・国際交流課	課長名	小森 実	内線番号	1250
-----	-------------	-----	------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 118

事業名	中心市街地活性化事業					
費目	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費
事業費	39,000 千円			予 算 書	204 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>西地区の城下町としてのまちなみを活用し、快適で安心して暮らせる生活空間の整備とまちの魅力を活かした特色あるまちづくりに取り組む。</p>
事業の内容	<p>○西地区の城下町としてのまちなみを活かしたまちづくり ・歴史のみちづくり整備工事 (朝代紺屋町線景観舗装 延長L=250m)</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	14,000	社会資本整備総合交付金(4/10)	60
	府支出金	1,200	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	22,500	都市計画債	98
	その他	-		
	一般財源	1,300		

担当課	都市計画課	課長名	吉田 章洋	内線番号	2320
-----	-------	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 119

事業名	都市計画基礎調査等事業				
費目	款	土木費	項	都市計画費	目 都市計画総務費
事業費	5,460 千円			予算書	204 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	<p>社会情勢の変化に対応し、土地利用の動向や公共施設の整備状況なども考慮した暮らしやすいまちを実現するため、都市計画制度区域区分の見直しと、都市計画マスタープランで示した子供たちへのまちづくりの学びについて推進する。</p>
事業の内容	<p>○都市計画制度の見直し 舞鶴市都市計画制度区域区分の見直し基準により、区域区分の変更を行う。</p> <p>○市街化調整区域における地区計画策定 市街化調整区域内の既存集落が抱える課題（少子高齢化・担い手不足など）に対応できる、地区計画の策定支援を行う。</p> <p>○子供たちへのまちづくりの学び 都市計画マスタープランで示した、「まちづくりの継承」において、未来を担う子供たちが本市の成り立ちや都市計画について学び、考え、参加することのできる環境づくりを進める。</p>

財源	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
内訳	国支出金	-		
	府支出金	500	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	4,960		

担当課	都市計画	課	課長名	吉田 章洋	内線番号	2320
-----	------	---	-----	-------	------	------

事業名	まちなかエリア定住促進空き家再生事業補助				
費目	款	土木費	項	都市計画費	目 都市計画総務費
事業費	2,400 千円			予算書	204 頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続

事業の目的	空洞化が進むまちなかへの居住を誘導するため、空き家を活用した定住を促進する。																												
	<p>市が指定する居住誘導区域内で、空き家情報バンク制度を通じて空き家を購入もしくは賃借する者が実施する空き家住宅の改修費用に対し、その費用の一部を助成する。</p> <p>また、空き家情報バンク制度の空き家提供者に対して、契約成立時に家財道具等撤去費用を補助する。</p>																												
事業の内容	1. 舞鶴市まちなかエリア定住促進空き家再生事業																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">補助対象者の区分</th> <th colspan="2">補助率（対象は住宅改修費）</th> <th>限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が居住誘導区域外の市内である者</td> <td rowspan="2">空き家に65歳以上の者が一人以上居住する場合</td> <td>購入の場合</td> <td rowspan="2">2分の1以内</td> <td>60万円</td> </tr> <tr> <td>賃借の場合</td> <td>36万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上記以外の者</td> <td rowspan="2"></td> <td>購入の場合</td> <td rowspan="2">4分の1以内</td> <td>30万円</td> </tr> <tr> <td>賃借の場合</td> <td>18万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が市外である者 【※ 一部要件緩和により拡充】</td> <td rowspan="2"></td> <td>購入の場合</td> <td rowspan="2">2分の1以内</td> <td>100万円</td> </tr> <tr> <td>賃借の場合</td> <td>60万円</td> </tr> </tbody> </table>				補助対象者の区分		補助率（対象は住宅改修費）		限度額	空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が居住誘導区域外の市内である者	空き家に65歳以上の者が一人以上居住する場合	購入の場合	2分の1以内	60万円	賃借の場合	36万円	上記以外の者		購入の場合	4分の1以内	30万円	賃借の場合	18万円	空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が市外である者 【※ 一部要件緩和により拡充】		購入の場合	2分の1以内	100万円	賃借の場合
補助対象者の区分		補助率（対象は住宅改修費）		限度額																									
空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が居住誘導区域外の市内である者	空き家に65歳以上の者が一人以上居住する場合	購入の場合	2分の1以内	60万円																									
		賃借の場合		36万円																									
上記以外の者		購入の場合	4分の1以内	30万円																									
		賃借の場合		18万円																									
空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が市外である者 【※ 一部要件緩和により拡充】		購入の場合	2分の1以内	100万円																									
		賃借の場合		60万円																									
事業の容	2. 空き家流動化促進補助金【新規】																												
	空き家提供者に対する契約成立時の補助金 1件当たり100,000円																												
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書																									
	国支出金	-																											
	府支出金	1,200	みらい戦略一括交付金(1/2)	74																									
	地方債	-																											
	その他	-																											
一般財源		1,200																											
担当課	都市計画課	課長名	吉田 章洋	内線番号 2320																									

平成30年度 主な事務事業調

No. 121

事業名	西舞鶴道路整備等促進事業					
費目	款	土木費	項	都市計画費	目	街路事業費
事業費	41,950 千円			予算書	204 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>現在、国において実施されている国道27号西舞鶴道路の整備促進を図るとともに、市において関連する道路等の検討を進め、安全で円滑な道路整備による活力あるまちづくりを推進する。</p>
事業の内容	<p>○西舞鶴道路整備等促進事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道27号西舞鶴道路の事業の促進 ・その他国事業の促進

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	1,500	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	25,400	都市計画債	98
	その他	14,400	都市開発推進基金繰入金、雑入(補償金)	86・96
	一般財源	650		

担当課	国・府事業推進課	課長名	岸本 浩	内線番号	3441
-----	----------	-----	------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 122

事業名	府道小倉西舞鶴線等改良促進事業				
費目	款	土木費	項	都市計画費	目 街路事業費
事業費	12,100 千円			予算書	204 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	東西市街地を最短距離で結び、活力あるまちづくりに不可欠な府道小倉西舞鶴線について白鳥トンネル区間の4車線化事業を促進する。			
	事業の内容 ○府道小倉西舞鶴線等改良促進事業費 ・白鳥トンネル区間の4車線化事業の促進 ・その他府事業の促進			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	10,800	都市計画債	98
	その他	-		
	一般財源	1,300		
担当課 国・府事業推進 課		課長名	岸本 浩	内線番号 3441

平成30年度 主な事務事業調

No. 123

事業名	都市公園整備事業				
費目	款	土木費	項	都市計画費	目 公園費
事業費	42,000 千円			予算書	206 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	市民の憩いの場である都市公園において、公園長寿命化計画に基づいた公園施設の改築を実施し、都市公園の適正な管理による安心・安全の確保と公園施設に係るトータルコストの低減を図る。			
	[都市公園長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新]			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴自然文化園園路舗装更新 ・五老ヶ岳公園施設(空調設備)更新 ・五老ヶ岳公園照明施設更新 			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
		国支出金	20,000	社会資本整備総合交付金(1/2)
	府支出金	-		
	地方債	19,800	都市計画債	98
	その他	2,000	都市開発基金繰入金	86
	一般財源	200		

担当課	土木課	課長名	大岡 正之	内線番号	2350
-----	-----	-----	-------	------	------

事業名	公園緑地整備事業				
費目	款	土木費	項	都市計画費	目 公園費
事業費	49,901 千円			予算書	206 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>市民の憩いの場、安らぎの場、レクリエーションや自然とのふれあいの場として、安心・安全で利用しやすい公園や広場の整備充実に努める。</p>
事業の内容	<p>[都市公園、ちびっこ広場等の整備、維持管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴自然文化園活性化事業計画策定 ・東西駅周辺広場イルミネーション ・青葉山ろく公園ニュースポーツ広場舗装改修 ・鹿原公園トイレ水洗化 ・五老ヶ岳公園受電設備改修 ・その他施設改修、修繕、遊具取替等

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	2,000	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	15,000	都市計画債	98
	その他	9,000	都市開発基金繰入金	86
	一般財源	23,901		

担当課	土木課	課長名	大岡 正之	内線番号	2350
-----	-----	-----	-------	------	------

事業名	民間建築物耐震改修等推進事業				
費目	款	土木費	項	住宅費	目 住宅管理費
事業費	7,178 千円			予算書	208 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	市内にある民間建築物の耐震化を促進し、災害に強いまちづくりを推進する。					
	事業の内容	助成項目		助成率	限度額	
		○木造住宅耐震改修費助成（本格改修型） 耐震改修（改修後の評点が1.0以上（原則）となる耐震改修設計又は耐震改修工事）を実施する者に対し、その費用の一部を助成する。		3/4	90万円	
		○木造住宅耐震改修費助成（簡易改修型） 耐震性を向上させる簡易な改修工事を実施する者に対し、その費用の一部を助成する。		3/4	30万円	
		○耐震シェルター設置費助成 京都府が認定した構造耐力を有するシェルターを設置する者に対し、その費用の一部を助成する。		3/4	30万円	
○木造住宅耐震診断士派遣 耐震診断を希望する市民に対し、耐震診断士を派遣して耐震診断を行う。		-	5万円/戸 (定額)			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書		
	国支出金	1,850	社会資本整備総合交付金(1/2)	60		
	府支出金	3,512	木造住宅耐震改修事業費補助金(1/2) 住宅耐震診断事業費補助金(1/4)	76		
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	1,816				
担当課	都市計画	課	課長名	吉田 章洋	内線番号	2320

平成30年度 主な事務事業調

No. 126

事業名	公営住宅改修事業				
費目	款	土木費	項	住宅費	目 住宅管理費
事業費	55,859 千円			予算書	208 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	公営住宅の長寿命化及び維持管理を行うため、公営住宅の適切な修繕等を実施する。
事業の内容	<p>既設公営住宅改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根改修工事（白鳥団地5号棟） ・駐輪場改修工事（城北団地 他5団地） 他

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
		国支出金	-	
	府支出金	-		
	地方債	30,800	住宅債	98
	その他	25,059	住宅使用料	50
	一般財源	-		

担当課	住宅・営繕	課	課長名	千原 明彦	内線番号	2370
-----	-------	---	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 127

事業名	公営住宅改善事業				
費目	款	土木費	項	住宅費	目 住宅建設費
事業費	64,243 千円			予算書	208 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>公営住宅等長寿命化計画に基づき、公営住宅を有効に活用するための改善事業を実施する。 また、将来的な公営住宅のあり方を見据えた集約化を推進する。</p>
事業の内容	<p>既設公営住宅改善事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅耐震診断（浮島団地、城北団地） ・廃止予定団地（田中団地、上安団地）の建物除却 他

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	23,088	社会資本整備総合交付金(4.5/10、1/2)	60
	府支出金	-		
	地方債	24,700	住宅債	98
	その他	-		
	一般財源	16,455		

担当課	住宅・営繕	課	課長名	千原 明彦	内線番号	2370
-----	-------	---	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 128

事業名	消防施設整備事業				
費目	款	消防費	項	消防費	目 消防施設費
事業費	49,385 千円			予算書	212 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	<p>複雑多様化する各種災害に迅速・的確に対応し被害の軽減を図るとともに、地域防災力の充実強化及び周辺地の火災等における初動体制を強化するため、常備消防の消防ポンプ自動車の更新及び各消防団に汎用性の高い小型動力ポンプ搬送車を整備し、引き続き市民の安全・安心を確保する。</p>
事業の内容	<p>○消防ポンプ自動車等購入事業 消防ポンプ自動車 1台</p> <p>○小型動力ポンプ機動力化事業 小型動力ポンプ搬送車 2台</p> <p style="text-align: center;">ほか</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	10,580	緊急消防援助隊設備整備費補助金(1/2)	60
	府支出金	-		
	地方債	33,300	消防債 31,100千円 辺地債 2,200千円	98
	その他	-		
	一般財源	5,505		

担当課	消防本部警防課	課長名	河合 淳一	内線番号	9121
-----	---------	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 129

事業名	防火施設整備費補助					
費目	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費
事業費	5,755 千円			予算書	212 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>地域防災力及び初期消火体制の充実強化を図るため、各地域の防火施設整備に係る費用に対し補助する。</p>
事業の内容	<p>・防火施設 11消防団、15施設</p> <p>小型動力ポンプ格納庫建て替え工事 消火栓器具格納庫等購入整備 ほか</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	2,800	みらい戦略一括交付金(1/2)	76
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	2,955		

担当課	消防本部総務課	課長名	羽賀田 淳	内線番号	9101
-----	---------	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 130

事業名	防災行政無線整備事業				
費目	款	消防費	項	消防費	目 災害対策費
事業費	2,460 千円			予算書	214 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>緊急地震速報や弾道ミサイル情報など、国の緊急防災情報のシステム向上等に対応するため、Jアラート（全国瞬時警報システム）に係る新型受信機を導入し、迅速・的確な情報伝達を図る。</p>
事業の内容	<p>○受信機の更新 2,460千円</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金			
	府支出金			
	地方債	2,400	消防債	98
	その他			
	一般財源	60		

担当課	危機管理・防災課	課長名	森川 芳博	内線番号	2560
-----	----------	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 131

事業名	ハザードマップ作成事業				
費目	款	消防費	項	消防費	目 災害対策費
事業費	5,000 千円			予算書	214 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>「津波防災地域づくりに関する法律」に基づき、平成29年5月までに府が示した津波に関する情報を「津波ハザードマップ」として取りまとめ、住民の安全・安心の確保と危機意識を図るとともに、地域避難計画の策定など、地域の実情に応じた津波警戒避難体制の構築を図る。</p>
事業の内容	<p>○津波ハザードマップの作成 5,000千円</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金			
	府支出金	4,000	電源立地地域対策補助金(定額)	76
	地方債			
	その他			
	一般財源	1,000		

担当課	危機管理・防災 課	課長名	森川 芳博	内線番号	2560
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	いじめ・不登校対策経費					
費目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
事業費	15,974 千円			予算書	216 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的

心理的要因等により不登校となっている児童・生徒に対し、学校生活への復帰と社会的自立を支援するため、教育支援センター（名称：明日葉(あしたば)）において、集団生活への適応、情緒の安定、学力の補充及び基本的な生活習慣の改善等のための相談、適応指導を行う。

また、いじめ問題に積極的に対応するため、いじめ相談室において24時間体制のいじめ相談ダイヤル等により、きめ細かな相談・対応を行う。

さらに、いじめ・不登校事案において専門的知見を必要とする困難事例に対処するため、教育支援センターにカウンセラー（臨床心理士）を配置し、問題解決に取り組む。

- 事業の内容
- 1 教育支援センターの概要
 - (1) 事業内容
 - ・不登校及びいじめに係る相談
 - ・学習指導、訪問指導
 - ・カウンセラー（臨床心理士）によるカウンセリング
 - (2) 場 所 メディカルセンター3階
 - 2 チャレンジアウトドアライフ事業の実施
不登校児童生徒を対象とした野外体験活動の実施
 - 3 いじめ相談ダイヤルの設置

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国支出金	5,759	地方創生推進交付金 (1/2)	60
	府支出金			
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	10,215		

担当課	学校教育課 教育総務課	課長名	森下 敏宏 小酒 由美子	内線	2430
				番号	2410

平成30年度 主な事務事業調

No. 133

事業名	小中一貫教育推進事業					
費目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
事業費	7,191 千円			予算書	216 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>学力向上と学校生活への適応に向け、義務教育9年間を見通した一貫性のある学習指導・生徒指導と、小・中学校の円滑な接続を目指した「小中一貫教育」を一層推進する。</p>				
	事業の内容	<p>○導入スケジュール 平成30年度から全ての中学校区に導入 平成28年度～ 城北・加佐中学校区 平成29年度～ 青葉・和田中学校区 平成30年度～ 白糸・城南・若浦中学校区</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター役を担う指導主事の配置 ・小学校高学年で一部教科担任制の実施 ・中学校教員による小学校への乗入授業の実施 ・小学校間、小・中学校間の交流事業の実施 ・教職員研修、先進校視察の実施 等 			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	7,191			
担当課	教育企画課		課長名	浜野 滋	内線番号 2420

平成30年度 主な事務事業調

No. 134

事業名	教員長期派遣事業					
費目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
事業費	6,802 千円			予算書	216 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>中学校の教員を学力向上で実績のある秋田県教育委員会へ派遣し、派遣先の教育方針や手法を学ぶことにより、派遣後において本市の教育力の向上につなげるものとする。</p>
事業の内容	<p>○派遣教員 中学校教員 1名</p> <p>○派遣先 秋田県教育委員会</p> <p>○派遣期間 平成30年4月～平成31年3月（1年間）</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	4,000	電源立地地域対策補助金(定額)	76
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	2,802		

担当課	学校教育課 教育総務課	課長名	森下 敏宏 小酒 由美子	内線 番号	2430 2410
-----	----------------	-----	-----------------	----------	--------------

平成30年度 主な事務事業調

No. 135

事業名 特色ある教育環境づくり支援事業						
費目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
事業費	5,400 千円			予 算 書	216 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>本市に所在する高等教育機関等においては、教育環境の充実はもとより、それぞれの特色を活かし、地域社会との交流や連携を図る活動を行うなど、地域づくりや産業振興にも寄与している。市内高等教育機関等の特色ある学校づくりに繋がる取組を積極的に支援し、地域の教育環境のさらなる充実を図る。</p>
事業の内容	<p>高等教育機関等の特色ある教育環境づくりに対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> 日星高等学校が取り組む、教育環境の充実に対する支援 3,600千円 教育後援会、同窓会、NPO法人等地域が一体となって取り組む府立東舞鶴高等学校の国際交流の推進、スポーツ・文化等の振興による教育環境の充実に向けた取組に対する支援 1,800千円

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
		国支出金	-	
	府支出金	2,700	みらい戦略一括交付金(1/2)	76
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	2,700		

担当課	企画政策	課	課長名	松岡 幸治	内線番号	1330
-----	------	---	-----	-------	------	------

事業名	工業高等専門学校修学資金				
費目	款	教育費	項	教育総務費	目 事務局費
事業費	2,318 千円			予算書	218 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>家庭の経済的な事情などにより、高等教育機関への進学が困難な学生の修学を支援するとともに、本市に不足する技術系の人材を確保するため、工業高等専門学校修学資金の貸付を行う。</p>
事業の内容	<p>1. 対象者（以下をいずれも満たす者） (1) 舞鶴市立中学校から舞鶴高専へ修学する者 (2) 舞鶴高専卒業後、1年以内に市内で技術者として就業する意思がある者 (3) 低所得世帯に属する者</p> <p>2. 貸付対象経費（いずれも限度額や貸付条件あり） 入学料、授業料、教科書代、教材代 等</p> <p>3. 貸付期間 舞鶴工業高等専門学校（専攻科含む）の在学期間と同じ</p> <p>4. 返還免除 修学資金貸付年数と同期間、舞鶴市内で技術者として就業すれば返還免除とする。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	1,100	みらい戦略一括交付金(1/2)	76
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,218		

担当課	学校教育課	課長名	森下 敏宏	内線番号	2430
-----	-------	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 137

事業名	糸井文庫魅力発信事業				
費目	款	教育費	項	教育総務費	目 文化・スポーツ振興基金費
事業費	1,000 千円			予 算 書	218 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>本市が所有する糸井文庫は、丹後地方ゆかりの2,200点余りに及ぶ貴重な資料であり、中でも「浦島太郎」や「三庄太夫」などの丹後の伝説を題材とした錦絵の数々は、全国的にも珍しく、地域性豊かなコレクションとして高く評価されている。</p> <p>こうした錦絵をはじめとする糸井文庫の持つ魅力を広く発信し、郷土の歴史文化遺産を活かしたまちづくりへとつなげていくため、効果的な活用方策の検討を行う。</p>
事業の内容	<p>○糸井文庫魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外に向けた商標の整備、民間活用による商品化、各種メディアを利用した広報等による糸井文庫の周知 ・平成30年度に本市で開催されるICOMプレ大会や、寄港予定のクルーズ船客など国外に向けたPRを通じ、錦絵の実物を展示する郷土資料館などを含む西地区の歴史的なまちなみへの観光客の誘導 等

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	-		
	そ の 他	1,000	文化・スポーツ振興基金繰入金	86
	一 般 財 源	-		

担当課	文化振興	課	課長名	左織 美紀恵	内線番号	1230
-----	------	---	-----	--------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 138

事業名	学校給食運営経費（小学校・中学校）				
費目	款	教育費	項	小学校費 中学校費	目 学校管理費
事業費	420,539 千円			予算書	220・224 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>安心・安全で、栄養バランスのとれた魅力ある給食を、食育の推進とともに全小・中学校で実施。</p>
事業の内容	<p>○小学校 全小学校（18校）に栄養士を配置し、自校調理方式（調理業務は委託）により給食を実施</p> <p>○中学校 スクールランチ方式による給食を実施</p> <p>※スクールランチ方式 給食委託業者の調理場で調理した給食をランチボックス（弁当箱）で各学校に配食する方式</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	89,000	特定防衛施設周辺整備調整交付金(定額)	60
	府支出金	1,000	電源立地地域対策補助金(定額)	76
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	330,539		

担当課	学校教育課 教育総務課	課長名	森下 敏宏 小酒 由美子	内線 番号	2430 2410
-----	----------------	-----	-----------------	----------	--------------

平成30年度 主な事務事業調

No. 139

事業名	施設整備事業（小学校・中学校）					
費目	款	教育費	項	小学校費・中学校費	目	学校管理費
事業費	60,806 千円			予算書	220・224 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的
 学校施設は児童生徒の学習・生活の場であり、よりよい教育活動を行うため、経年により安全性・機能性に支障のある老朽施設の改修による、教育環境の改善を図る。

事業の内容
 池内小学校 体育館屋根改修工事
 池内小学校 公共下水道接続工事
 その他、学校施設に係る修繕等

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	21,100	小学校債	98
	その他	-		
	一般財源	39,706		

担当課	教育総務	課	課長名	小酒 由美子	内線番号	2410
-----	------	---	-----	--------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 140

事業名	特別支援教育支援員設置経費（小学校・中学校）					
費目	款	教育費	項	小学校費 中学校費	目	学校管理費
事業費	42,895 千円			予算書	220・224 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	通常学級、特別支援学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童・生徒に対し学習支援を行うなど適切に対応するため、支援員を配置する。
事業の内容	各小・中学校に支援員の配置 小学校：27名 中学校：24名

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,600	地方創生推進交付金(1/2)	60・62
	府支出金	27,000	電源立地地域対策補助金(定額)	76
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	14,295		

担当課	学校教育課 教育総務課	課長名	森下 敏宏 小酒 由美子	内線 番号	2430 2410
-----	----------------	-----	-----------------	----------	--------------

平成30年度 主な事務事業調

No. 141

事業名	特色ある教育活動支援事業費補助（小学校・中学校）				
費目	款	教育費	項	小学校費 中学校費	目 教育振興費
事業費	7,612 千円			予算書	220・224 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>地域人材等の活用により、地域に根ざした特色ある学校づくりや教育活動を推進するための支援を行うとともに、地域社会等の支援や協力のもと、豊かな体験活動を実施し、「生きる力」の核となる「豊かな人間性」を育てる「心の教育」の充実を図る。</p> <p>小学校6年生の社会科学習の一環として、引揚記念館を見学し、語り部の方から戦争の悲惨さや平和の尊さ、当時の舞鶴市民のもてなしの心について直接話を聞くことにより、引き揚げの歴史を学ぶほか、ふるさと学習の実施により「ふるさと舞鶴」を愛する子どもの育成を図る。</p>
事業の内容	<p>○教育活動支援事業 総合的な学習の時間、選択教科、体験活動、野外活動、クラブ活動・部活動等において、地域人材等を活用した特色ある教育活動を支援するため、講師への謝礼等に対して助成措置を講ずる。 小学校6年生の社会科学習において、引揚記念館等を見学する「ふるさと学習」を実施する。</p> <p>○地域ふれあい体験活動事業 各小・中学校において、地域や学校の実態に応じて創意工夫し、職場体験（小学校では仕事についての体験活動等）、世代間交流、福祉職場体験、農業体験、伝統的文化活動など通年の教育活動として、児童・生徒の体験活動を実施する。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	756	「KYO発見 仕事・文化体験活動」推進事業補助金(2/3)	76
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		6,856		

担当課	学校教育課	課長名	森下 敏宏	内線番号	2430
-----	-------	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 142

事業名	中学校部活動指導員配置事業				
費目	款	教育費	項	中学校費	目 学校管理費
事業費	5,039 千円			予 算 書	224 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>専門的な知識・技能を有する部活動指導員を顧問として中学校に配置し、教員の部活動指導に係る負担の軽減を図るとともに、競技力や技術の向上など部活動の質的な向上を図る。</p>
事業の内容	<p>各中学校に部活動指導員を配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置人数 各校に1名 計7名 ・種 目 各校1種目を選定

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国支出金	1,679	部活動指導員配置促進事業費補助金 (1/3)	60
	府支出金	1,679	部活動指導員配置促進事業費補助金 (1/3)	76
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,681		

担当課	学校教育 課	課長名	森下 敏宏	内線番号	2430
-----	--------	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 143

事業名	夢チャレンジサポート事業				
費目	款	教育費	項	中学校費	目 教育振興費
事業費	8,819 千円			予算書	224 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	子どもたちの夢を育み、その夢の実現を支え、将来、社会に貢献出来る人材を育成するために、夢講演会の開催や学力向上に向けた支援を行う。
事業の内容	<p>1. 学力チャレンジ 生徒の学力状況を把握し、学習改善につなげるとともに、生徒が自分の学力を把握し、進路実現に活かすため、中学校で各学年統一の学力診断テストを実施する。</p> <p>2. 検定チャレンジ 英語検定にチャレンジする意欲ある生徒に検定料を支援する。</p> <p>3. 夢講演会 生徒の将来の夢を考えるきっかけとするために、外部講師による講演会を実施する。</p> <p>4. 夢サポート事業 各校における学力向上、教職員の資質の向上等の取組や、地域の特色を活かした教育活動を支援する。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	4,400	みらい戦略一括交付金(1/2)	76
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	4,419		

担当課	学校教育課	課長名	森下 敏宏	内線番号	2430
-----	-------	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 144

事業名	私立幼稚園教育環境整備事業費補助				
費目	款	教育費	項	幼稚園費	目 幼稚園費
事業費	3,600 千円			予 算 書	228 頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続

事業の目的	<p>私立幼稚園における幼児教育環境の整備等を図り、質の高い幼児教育の実践に向けた取組を促進する。</p>
事業の内容	<p>【内容】</p> <p>1. 対 象：学校法人が設置する幼稚園</p> <p>2. 内 容</p> <p>(1)対象事業 園独自の「主体性を育む幼児教育」につながる事業 (ふるさと体験、ものづくり、健やかな体づくり等)</p> <p>(2)対象経費 事業実施に必要な講師等謝礼、旅費、消耗品費、備品購入費 等</p> <p>(3)補助率 補助対象経費の2/3 (限度額60万円)</p>

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	3,600	基金等積立金利子・繰入金 (有本千壽子基金)	80・86
	一般財源	-		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	田中 昭	内線番号	2471
-----	-----------	-----	------	------	------

事業名	発掘調査事業				
費目	款	教育費	項	社会教育費	目 社会教育総務費
事業費	10,630 千円			予算書	230 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的

大波上の一般廃棄物最終処分場の拡張整備予定地である埋蔵文化財包蔵地「田畔遺跡」については、平成29年度に発掘調査を行ったところであるが、本年度は出土品の整理と報告書作成を行う。

また、埋蔵文化財包蔵地である田辺城跡地内において、民間開発に先立ち発掘調査を実施し、記録保存を行うとともに、調査成果についての報告書を作成する。

事業の内容

○田畔遺跡第2次発掘調査事業
 平成29年度 現地調査
 平成30年度 出土品整理・報告書作成

○田辺城第31次発掘調査事業
 平成30年度 開発予定地内の発掘調査
 (調査面積約400㎡、現地調査期間2カ月)
 出土遺物の洗浄、整理、図化作業
 報告書の作成

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,708	循環型社会形成推進交付金(1/3)	62
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	5,504	雑入(原因者負担)	96
	一般財源	3,418		

担当課	文化振興	課	課長名	左織 美紀恵	内線番号	1230
-----	------	---	-----	--------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 146

事業名	生涯学習推進事業					
費目	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費 公民館費
事業費	4,798 千円			予算書	230・232 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>誰もが学習できる環境づくりと、生活に根差した各種セミナーや体験教室等の充実、身近な地域資源や課題等について学ぶ「地元学」等により、地域の活性化や高齢者の社会参加、青少年の健全育成、世代間交流の促進を図る。また、様々な経験や知識をお持ちの市民を「まちの先生」に認定し、地域や学校などで幅広く活躍していただけるよう支援する。</p>				
	事業の内容	<p>生涯学習支援事業 ①「まちの先生」制度の周知・活動支援 ②公民館生涯学習活動支援事業 ・身近な地域資源や課題を学ぶ「地元学」事業 ・本市の魅力を学ぶ「とっておきの舞鶴体感」事業 ・高齢者学級いきいきセミナー事業 ・家庭教育学級事業 ・公民館講座開設事業 ※実施場所は公民館（4館）大浦・城南会館及び東コミュニティセンター等 ③障害者教室成人講座事業</p>			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	4,798			
担当課	地域づくり支援課	課長名	岩田 宏幸	内線番号	1225

事業名	歴史文化資産活用経費				
費目	款	教育費	項	社会教育費	目 社会教育総務費
事業費	13,259 千円			予算書	230 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的

赤れんが周辺等まちづくり基本計画に基づき、文科省所管の3棟をはじめとする国指定重要文化財赤れんが倉庫群を活用するため、保存活用計画を策定し、保存改修を進めていく。
また、城下町の面影を残す歴史文化遺産のひとつである芸屋台を地元で保存展示するための施設について、平成30年度に建設を予定している自治会に対し補助を行う。

事業の内容

- 国指定重要文化財赤れんが倉庫施設整備事業費
平成30年度 保存活用計画の策定（概ね2年間）
（学識経験者による懇話会を設置し、審議を行う。）
以降、基本設計・実施設計・工事施工・監理を順次行う。
- 芸屋台保存展示施設整備事業交付金
（本年度、西町内で建設予定）
整備済の自治会…魚屋、寺内、新、竹屋、丹波、堀上

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
		国支出金	6,668	文化財建造物等を活用した地域活性化事業費補助金(6.5/10)
	府支出金	1,500	みらい戦略一括交付金(1/2)	76
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	5,091		

担当課	文化振興	課	課長名	左織 美紀恵	内線番号	1230
-----	------	---	-----	--------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 148

事業名	体育施設整備事業				
費目	款	教育費	項	保健体育費	目 保健体育総務費
事業費	11,431 千円			予算書	234 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>体育施設の利便性の向上及び長寿命化のため、施設改修等を行う。</p>
事業の内容	<p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化公園プール：流水プール起流ポンプの更新 ○東舞鶴公園野球場：身障者用トイレブースの設置等

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	8,400	保健体育債	98
	一般財源	3,031		

担当課	スポーツ振興 課	課長名	小谷 裕司	内線番号	1235
-----	----------	-----	-------	------	------

平成30年度 主な事務事業調

No. 149

事業名	スポーツ交流拠点づくり事業				
費目	款	教育費	項	保健体育費	目 保健体育総務費
事業費	9,471 千円			予 算 書	234 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるウズベキスタン共和国のホストタウンとして、事前合宿の受け入れ準備や、相手国を理解する取り組みを進め、スポーツを通じた交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。</p>
事業の内容	<p>ウズベキスタン共和国のホストタウンとして、レスリング・柔道の事前合宿実施に向けた交流事業と市民理解促進事業等を実施。</p> <p>○主な内容</p> <p>(1) ウズベキスタン共和国選手団交流合宿の招へい等 3,717千円 [交流合宿(レスリング・柔道)招へい費]</p> <p>(2) 国際交流員の配置等による相手国理解の推進 4,783千円 [報酬、研修旅費、負担金等]</p> <p>(3) ウズベキスタン展の開催 971千円 [写真展・講演会等]</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	2,500	電源立地地域対策補助金(定額)	76
	地方債	-		
	その他	2,485	雑入(自治体国際化協会助成金)	96
	一般財源	4,486		

担当課	スポーツ振興 文化振興	課 課	課長名	小谷 裕司 左織 美紀恵	内線 番号	1235 1230
-----	----------------	--------	-----	-----------------	----------	--------------

平成30年度 主な事務事業調

No. 150

事業名	赤れんがハーフマラソン開催経費				
費目	款	教育費	項	保健体育費	目 保健体育総務費
事業費	7,400 千円			予 算 書	234 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	スポーツイベントを通じた交流人口の拡大と地域経済の活性化を図るため、6回目となる「赤れんがハーフマラソン」を開催する。		
	大会概要(予定) ○開催日 平成30年10月8日(月・祝) ○会場 赤れんがパーク(市役所)周辺 スタート・ゴール		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
		国支出金	-	
	府支出金	3,700	みらい戦略一括交付金(1/2)	76
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	3,700		

担当課	スポーツ振興 課	課長名	小谷 裕司	内線番号	1235
-----	----------	-----	-------	------	------